

(専門科目)

科 目 名	特別講究（特別支援教育論） 英語名：Special Seminar on Special Needs Education	必修/選 択	選択必修	
		単位数	2 単位	
		担当教員	原田公人	
【授業概要】 本科目では、特別支援教育を中心として、障害に関わる理論と実践（指導法）の理解を深めることを目指す。特別支援教育においては、個々の障害の状態・程度が異なることから、個々に応じた指導・支援が要請される。このため、医療や福祉等の関連領域も含めて、資料の収集及び文献レビューを通して、各発達段階に応じた教育方法や評価について学修する。 また、自身の現場経験を省察し、特別支援教育の現状・課題・今後の展開等についてディスカッションする。これらの学修を踏まえ、研究テーマの設定・研究法を検討し、博士論文の一部を成す研究成果の完成を目指す。				
【キーワード】 特別支援教育、インクルーシブ教育、IEP(Individual Education Plan)、リハビリテーション、研究法				
【授業の到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・国内外の障害児教育の歴史の基本的理解・インクルーシブ教育の理念、課題の基本的理解・多機関連携による家族支援の基本的理解				
【教育の方法】 スクーリングの実施【あり】 スクーリングのメディア受講【可】				
【授業計画】				
回	内 容			
1	オリエンテーション：本授業のねらいと概要【SC】			
2	米国の障害児教育制度			
3	英国の特別な教育的ニーズ（SEN: Special educational needs）			
4	我が国の障害者施策（福祉・教育）			
5	特殊教育から特別支援教育への変遷			
6	国内外のインクルーシブ教育			
7	合理的配慮・個別の教育支援計画			
8	障害のある子どもの実態把握・自立活動・個別の指導計画【SC】			
9	学校教育場面における指導・支援の実際			
10	早期療育体制・地域連携			
11	研究テーマ・リサーチクエスションの設定			
12	研究テーマに応じた研究方法の検討			
13	研究計画の検討			

14	先行研究の選定、資料・文献検討
15	まとめ（研究テーマの設定と研究の展望）【SC】
試験	
【履修にあたっての準備・履修上の注意点】 ・初回スクーリング受講後は、指定したテキストを読み、教員が提示した課題を行っていく。	
【スクーリングでの学修内容】 学修初期のスクーリングは、授業の目的や学修内容を説明する。学生は教科書の各テーマについてレポートに纏めて発表する。教員との議論を通して、自身の研究テーマに接近する研究計画の策定、研究方法を選定することを目指す。なお、研究テーマは、特別支援教育の現状・課題等について全体像を把握することが前提となる。このため、関係領域（医療、福祉等）における研究動向についても、情報収集しておくことが望ましい。 学修後期のスクーリングでは、自身の関心（研究目的）を確認し、実現可能な研究計画書を作成する。研究を進める前提として、十分な先行研究調査が求められる。学生が選定した先行研究に対して教員との議論を通して、研究の意義・目的及び研究方法（分析法を含む）を明確化する。また、研究目的に合致した研究方法を検討することが重要であり、量的研究方法・質的研究法について、理解を深める。スクーリングはこの 2 つの時期を含み、合計 4 コマ 6 時間以上をめぐり行う。	
【評価方法】 合否については、研究計画・方法に関するプレゼンテーション・レポート（50%）、科目修得試験（50%）で評価する。	
【教科書】 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所『特別支援教育の基礎・基本 2020』、ジアース教育新社、2020 年 その他は授業時に提示する	
【参考図書】 ・齋藤佐和/四日市章編『講座特別支援教育 1 特別支援教育の基礎理論 第 2 版』教育出版、2016 年 ・安藤隆男編『講座特別支援教育 3 特別支援教育の指導法 第 2 版』教育出版、2016 年 ・ピーター・ライト、パメラ・ライト、サンドラ・オコナー＝著／柘植雅義、緒方明子、佐藤克敏＝監訳『アメリカの I E P（個別の教育プログラム）』中央法規、2012 年 ・Matthew J Schuelka, Christopher J. Johnstone, Gary Thomas, Alfredo J. Artiles『The SAGE Handbook of Inclusion and Diversity in Education 1st Edition』SAGE reference、2019 年 ・ピーターミットラー(著者),山口薫(訳者)『インクルージョン教育への道』東京大学出版会、2002 年 ・江藤文夫『よくわかるリハビリテーション』ミネルヴァ書房、2006 年	
【教員メッセージ】 ・今後、障害のある児・者のみならず、特別な教育的ニーズが必要とされる児・者の増加が予想され、その対応は社会的要請となっています。科学論文の作成を通して、広い視野をもった実践的研究者となることを期待します。	
【備考】 特記事項なし	